

2 月定例所長会見における横村所長挨拶内容

○ 所長の横村でございます。本日は、私の方から 4 点申し上げます。

○ まずは、プラントの状況についてです。

5 号機につきましては、現在、調整運転を行っておりますが、1 月 20 日までにプラント全体の機能試験を終了し、評価結果に問題がないことを確認いたしました。この結果につきましては、1 月 24 日に新潟県中越沖地震後の設備健全性に係るプラント全体の機能試験・評価報告書として取りまとめ、原子力安全・保安院へ提出いたしました。2 月 1 日には一部の内容を改訂し、改訂版をあらためて提出したところです。

この評価報告書につきましては、2 月 3 日に原子力安全・保安院より 5 号機のプラント全体の機能健全性は維持されており、継続的かつ安定的に運転する上で問題ないとの評価をいただき、現在、原子力安全委員会にてご審議いただいているところです。

また、新潟県の技術委員会におきましても、2 月 7 日に営業運転に移行する上で特段の問題とすべき点はないとの評価をいただきました。

こうした状況を踏まえて、今後、総合負荷性能検査に向け、適切に対応してまいりたいと考えております。

3 号機につきましては、昨年 11 月 16 日から系統機能試験を開始し、全 26 項目の試験のうち、これまでに 16 項目について試験を終了し、問題がないことを確認いたしました。

また、先月末までにこれまで予定していた耐震強化工事を終了し、現在、残りの系統機能試験、原子炉圧力容器の漏えい試験、復水器の気密試験等、機器・系統機能試験に係わる作業など、必要な工事を一つ一つ着実に実施しているところであります。

また、7 号機の使用済制御棒でひびが認められた件につきましては、新たに 3 つのサンプルを試験施設に搬出し、破面調査などを継続して実施しております。

今後、ひびの破面観察の結果や発生原因などについて、最終的な評価結果として取りまとめ、原子力安全・保安院へ報告するとともに、お知らせしてまいります。

○ 2 点目は、設備の点検周期を超えた事案についてです。

設備の点検周期を超えた事案に関する調査につきましては、中越沖地震後に運転を再開し、現在運転中の 1, 5, 6, 7 号機の 4 プラントについて先行して調査を行い、その調査結果を 2 月 2 日にお知らせいたしました。

現在、残りの 3 プラントの調査を継続的に進めておりますので、それらの調査結果や点検周期を超えることに至った原因、最終的な再発防止対策などを取りまとめ、2 月末までに原子力安全・保安院へ報告するとともに皆さまへもお知らせしてまいります。

なお、新潟県技術委員会の委員の皆さまにおかれましては、本日午後に発電所へお越しになり、5 号機の運転状況と設備の点検周期を超えた事案や、使用済制御棒で認められたひびに関しても、これまでの点検状況や今後の対応などについてご確認いただく予定です。

- 3点目は、線量低減・廃棄物低減に関する取り組みについてです。

当所では、日頃から作業員の方が作業時に受ける放射線量をできるだけ小さくするとともに、作業に伴い発生する放射性廃棄物の量をなるべく少なく抑える取り組みを実施してきておりますが、昨年策定した当社の2020ビジョンに基づき、世界に誇れる発電所となることを目指して、当社と協力企業が一体となって、まずは、これまで以上に線量低減・廃棄物低減の意識醸成を図ることといたしました。このため、今年1月～2月を強化月間と位置付け、線量低減や廃棄物低減に関する掲示物による働きかけや放射線管理事例集の配布、意識調査に関するアンケートの実施など意識醸成活動に取り組んでいるところです。

発電所で働く皆さんが線量低減・廃棄物低減に対して、さらに高い意識をもって積極的に改善に取り組んでいくことにより、自分たちの現場におけるムリ、ムダを取り除き、現場力が培われ、より発電所の安全と品質が高まることを期待しております。

強化月間の活動の一つとして、2月22日に、これまでの各社及び当社の線量低減や廃棄物低減に関する良好な活動成果を発表する場を設け、その取り組み事例を紹介しあって成果をみんなと分かち合うとともに、発電所内で水平展開を図るなどして、さらなる現場の改善に努めてまいります。

- 4点目は、不適合に関する情報公開についてです。

当所では、今月から日々発生する不適合について、当所ホームページにおいて毎日情報公開する取り組みを開始しております。発電所における不適合については、これまでも月に1度取りまとめて全件をホームページにて公開しておりましたが、これを一步前進させ、改善し、日々公開することといたしました。

今回の取り組みが、発電所のさらなる透明性の確保、情報公開の推進につながればと考えております。

本日、私からは以上です。

以 上

添付) 柏崎刈羽原子力発電所DATA BOX

プレス公表 (運転保守状況)

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成23年2月)

平成23年2月10日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況														補足説明
			3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2			
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	運転中	第15回 H19.5.4～H22.8.4 停止期間 H19.5.4～H22.6.6 (1130日) (原子炉起動H22.5.31)	↓第15回定期検査による停止														【6号機】 ・1月26日に発電開始。(お知らせ済み) ・1月31日に定格熱出力一定運転開始。 【7号機】 ・10月1日から漏えい燃料周辺の制御棒6本を挿入した状態で、定格熱出力一定運転中。(お知らせ済み) ・1月19日にハフニウムフラットチューブ型制御棒の動作確認を実施し、「異常なし」。 次回の動作確認予定は2月中旬。
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19～	第11回 H17.9.3～H18.5.9 停止期間 H17.9.3～H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止														
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19～	第9回 H18.5.12～H18.9.15 停止期間 H18.5.12～H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定期検査による停止														
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11～	第9回 H18.4.9～H19.1.11 停止期間 H18.4.9～H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定期検査による停止														
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H18.11.24～H22.11.25 現在調整運転中	第11回 H17.7.4～H17.11.2 停止期間 H17.7.4～H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定期検査による停止														
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第9回定期検査中 定検停止期間:H22.10.31～H23.1.26 現在調整運転中	第8回 H19.5.24～H22.1.19 定検停止期間:H19.5.24～H21.8.31 (831日) H21.12.26～H22.1.8 (14日) (原子炉起動H21.1.6)	第9回定期検査による停止														
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	運転中	第9回 H22.4.18～H22.7.23 H22.4.18～H22.6.28 (72日) (原子炉起動H22.6.26)	↓第9回定期検査による停止														

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (1月末現在)

1月	46.6%
22年度累計	37.5%
運転開始後累計	64.6%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (1月末現在)

1月	284,981
22年度累計	2,263,432
運転開始後累計	83,967,692

④ ドラム缶発生量(本) (H22年度第3四半期)

当期発生本数	696
貯蔵庫累積貯蔵本数	31,224
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H22年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,160
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 構内従業員データ(人) (2月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	868	2,741	53%
	刈羽村	80	246	5%
	その他	106	1,119	18%
	小計	1,054	4,106	76%
県外		94	1,547	24%
合計		1,148	5,653	-
		6,801		100%
協力企業社数(社)		797		

※「比率」について端数処理の関係で数値と計が含まない場合がある。

⑦ 来客情報(人) (1月末現在)

	1月	年度累計
地元	864	16,033
県内	307	12,800
県外	311	27,512
国外	8	692
合計	1,490	57,037

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
2月17・18・19日	針と糸で編むビーズステッチ教室 [【柏崎会場】2月17・18日 (柏崎エネルギーホール)] [【刈羽会場】2月19日 (き・な・せ)]
2月26日	Comfy サイエンススクール (カムフィー)
2月26日	ハーバル体験教室 (き・な・せ) 第1回講座「精油のパワーでリフレッシュ! アトマイザー作り」
3月10日	次回定例所長会見予定
3月12日	ハーバル体験教室 (き・な・せ) 第2回講座「ハーブティーを楽しむ!」と「発電所構内バス見学」
3月19日	雪割草体験教室
3月21日	とうでん 今、話、会。(柏崎市民プラザ 海のホール) 「次の世代へのメッセージ ～今私にできること～」講師:住田 裕子

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

平成23年2月10日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	1月13日	1号機	タービン建屋（非管理区域）における水漏れについて（区分Ⅲ）	<p>（事象の発生状況） 定格熱出力一定運転中の1号機において、平成23年1月12日午後11時23分頃、パトロール中の当社社員が、タービン建屋2階の空調系の給気フィルタ室（非管理区域）において、暖房用の給気加熱器に使用している所内ボイラの蒸気の凝縮水が、床面に漏れいしていることを発見しました。 床面に溜まっていた漏えい水は約1,600リットルで、凝縮水を排水する配管が負圧になることを防ぐために設置している逆止弁の不具合により、凝縮水がその先の配管開口部から漏れたものと推定しました。 なお、当該給気加熱器への蒸気の供給を停止させたことにより、凝縮水の漏れは止まっております。</p> <p>（安全性、外部への影響） 漏れた水には放射性物質は含まれておらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 床面に漏れた水については、排水を行い、清掃を実施しました。 <u>原因を調査した結果、当該逆止弁の動作不良により弁が開いたままとなり凝縮水が漏れ、さらに床の排水口が詰まっていたことにより床に水が溜まったものと推定しました。このため、逆止弁の分解点検を行ったところ、弁部品に損傷等は無く、弁シート面に一時的にゴミが噛み込んでいたことによりシート性能が低下したものと考えられます。また、凝縮水が漏れた場合でも排水が確実に行われるように排水口の清掃を実施しました。再発防止対策として、今後、設備を稼働する冬場の前に排水口の点検を実施いたします。</u></p>
②	1月28日	3号機	原子炉建屋（非管理区域）における水漏れについて（区分Ⅲ）	<p>（事象の発生状況） 定期検査中の3号機において、平成23年1月27日午前11時59分頃、原子炉建屋地下1階の非常用ディーゼル発電機（B）室（非管理区域）で、非常用ディーゼル発電機（B）付属機器の点検のため冷却水の水抜き作業を行っていたところ、当該作業に従事していた当直員が、水抜き用配管がつながっている排水口から床面に水が漏れいしていることを発見しました。 床面に溜まっていた漏えい水は約470リットルであり、水抜きのために開けていた弁を閉めたことにより、水漏れは停止しました。</p> <p>（安全性、外部への影響） 漏れた水には放射性物質は含まれておらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>（対応状況） 床面に漏れた水については、排水を行い、清掃を実施しました。 <u>原因を調査した結果、排水口に設置されている逆流防止治具（ボール逆止弁）が排水量の変化などに伴う排水によるボール弁の沈み込みにより閉止状態になり、排水口から排水が溢れたものと推定しました。再発防止対策として、今後、水抜きの際には逆流防止治具を取り外して水抜きを行うことといたします。</u></p>